

学力向上アクションプラン

唐津市立第四中学校

- 1 目 標 ○確かな学力の定着とボランティア精神を高める
～授業実践や各種テスト・生徒会活動を通して～
- 2 実践目標 ○アクションプランを生徒・保護者・地域にアピールし、全職員共通理解のもとに実行する。
○保護者・地域の理解、支援を受けて小・中連携を図って実践する。
- 3 成果目標 (1) 礼儀正しく、児童・生徒が仲の良い、活気や笑顔あふれる学校生活を送れる。
(2) 意欲を持って、授業に真剣に取り組み、各種学力テスト結果が尚一層向上する。
(3) 開かれた学校づくりを通して、学力面でも保護者・地域の理解と協力を得ていく。

4 現 状

◎H 2 1 全国学力学習状況調査（3年）				
国語A	国語B	数学A	数学B	
県平均	県平均	県平均	県平均	
+ 10 以上	+ 15 以上	+ 15 以上	+ 15 以上	
◎H 2 1 佐賀県学習状況調査（2年）				
国 語	社 会	数 学	理 科	英 語
県平均	県平均	県平均	県平均	県平均
+ 5 以上	+ 5 以上	+ 5 以上	+ 5 以上	- .5 以下
◎H 2 1 佐賀県学習状況調査（1年）				
国 語	社 会	数 学	理 科	
県平均	県平均	県平均	県平均	
少し上	+ 5 以上	+ 5 以上	+ 5 以上	

*全国・県ともに全職員にデータを回覧し、その後ファイルにとじて、各教科の取り組みにいつでも利用出来るようにしている。

- 5 数値目標 ○全国学力テスト及び佐賀県学習状況調査ともに、各教科+5ポイントを目指す。(ただし、3年英語については-5ポイントで設定)。
- 6 アクションⅠ 基本的な生活態度の育成
 - (1) 「あいさつ運動」の徹底
 - ①毎朝、教師・育友会・交通指導員さん等で学校前の横断歩道に立ち、笑顔で挨拶を交わして登校を見守る。
 - ②職員室の出入りでの「失礼します」等の徹底。
 - ③来校者・地域の方への「こんにちは」等の徹底。

(2) 「ボランティア活動」による心の醸成

- ①生徒会を中心に、朝の校舎周辺のゴミ拾い等の環境美化に、継続して取り組む。
- ②めづら荘・栄荘（1・2年）、北部養護学校（3年）交流を通して、お年寄りや障害を持った生徒との、心の交流を深める。

(3) 時間・服装など「校則を守る生徒」の育成

- ①ノーチャイムで授業を実施し、教師も授業の始め・終わりを守る。
- ②頭髪・服装等の身だしなみを、いつもきちんと整える。
- ③寝坊等の理由での、遅刻者がいない学級・学校。

7 アクションⅡ 「確かな学力」の育成

- (1) 教科書・ノート・ワークブック等の忘れ物がない学校。
- (2) 基礎学力テスト等へ向け、日々の授業で小テスト・ドリル等を計画的に実施し、学習の定着を図る。
- (3) 教科担任・学級担任の連携を密にし、基礎学力テストの事前のドリル学習にしっかり取り組む。英語については、出来る限り授業時数をさらに確保していく。
- (4) 漢字等の宿題・自学ノートを、教科担任・学級担任でしっかり見ていく。
- (5) 校内研修・校内授業研究会等の充実を図り、活用型授業への理解・実践を通して、教師各自の資質を高める。
- (6) 小・中連携の教職員交流授業を実践し、学力向上・児童生徒理解に努める。
(中学校から小学校への出授業→国・理・英・社・家 体育は小から中へ)
- (7) 中間・期末テスト等の範囲発表を出来るだけ早く行い、自ら計画を立てて、家庭での学習が出来るように支援する。
- (8) 進学を控えた3年生には、11月から1月まで放課後特課（水曜日を除く）を計画的に実施し、希望進路実現を援助する。

8 アクションⅢ 家庭・地域の協力・支援による学校づくり

- (1) 「早寝・早起き・朝ご飯」・「笑顔・挨拶・思いやり」を啓発・実践していく。
- (2) 家庭の教育力向上を図れるように啓発する。(家族で積極的に会話をしよう・家庭での役割を持たせよう・感謝や尊敬の心、人権尊重の大切さを教えよう)
- (3) 保護者心得6箇条（別掲の福岡秋月小学校PTA作成資料）を知らせ、意識を高める。
- (4) 教科・総合的な学習の時間などへの、地域人材を活用する。
- (5) 職場訪問・職場体験を通じて、進路意識の向上を図る。

* 保護者心得6箇条（福岡県朝倉市立秋月小学校PTA作成）

- 【1】一人一人の人権を尊重できるように、自分の人権意識を高めよう
- 【2】権利ばかり主張せず、親としての義務を果たそう
- 【3】「親と子」、「先生と児童」の分別をつけ、世間常識をふまえ、立派な大人として子どもに接しよう
- 【4】保護者は学校、先生の批判を子どもの前でしないようにしよう。意見交換は大人同士で行おう
- 【5】学校に対しての相談はまず「担任」にしよう
(いきなり校長先生、教頭先生に相談しない)
- 【6】自分（大人）の生活を優先しすぎず、子育てを楽しもう